

美術科

グローバルな視点の活用を取り入れた美術科の授業実践

—アートリンクによる海外の生徒との作品交流を通して—

松本裕子

1 はじめに

中学校美術科の目標¹⁾は、「表現及び鑑賞の幅広い活動を通して、美術の創造活動の喜びを味わい美術を愛好する心情を育てるとともに、感性を豊かにし、美術の基礎的な能力を伸ばし、美術文化についての理解を深め、豊かな情操を養う。」である。この中で、「美術文化についての理解」を深めることは、新たに加わった内容であり、中学校学習指導要領解説美術編では次のように解説している。「これからの国際社会で活躍する日本人を育成するためには、我が国や郷土の伝統や文化を受け止め、そのよさを継承・発展させるための教育や、異なる文化や歴史に敬意を払い、人々と共存してよりよい社会を形成していこうとするための教育を充実する必要がある。」²⁾また、鑑賞領域の改善については、「自分なりの意味や価値を作り出していく学習を重視」³⁾することが示されている。

本授業実践では、これらのねらいを踏まえ、クリエイティブ・コネクションズ⁴⁾が主催するアートリンクのシステムを用い、グローバルな視点で、生徒がこれまで習得してきた鑑賞の能力を活用しながら美術という媒体を通じてお互いの文化や生活様式等を紹介し合い、異文化理解を促す活動を取り入れることとした。

2 アートリンクについて⁵⁾

(1) 趣旨

世界56か国に所在する生徒に、美術という媒体を通じてお互いの文化や生活様式等を紹介し合

い、異文化の発見を促す活動（クリエイティブ・コネクションズによる）

(2) プロジェクトのゴール

- ①生徒が外国に住む同世代の子どもたちの生活への認識を高め、理解し評価できるようになること
- ②生徒が新しい視点で自分自身が持つ文化を見せるようになること
- ③考えを伝える手段として、生徒が美術の持つ力を発見すること

(3) 交流の手順

- ①クリエイティブ・コネクションズにメールで参加手続きをする。
- ②アートリンク教師用ハンドブックが届く。
- ③クリエイティブ・コネクションズからパートナークラスが紹介される。
- ④テーマに沿って作品を制作する。
- ⑤作品解説シートに作品や自分の紹介文を書き、顔写真を添付する。
- ⑥クリエイティブ・コネクションズに作品と作品解説シートを送る。
- ⑦パートナークラスの作品と作品解説シートが届く。
- ⑧作品感想フォームに沿って、作品鑑賞をする。
(文化の探偵になって作品を分析)
- ⑨意見や感想を作品感想フォームにまとめて、クリエイティブ・コネクションズにメールで送る。
- ⑩パートナークラスの感想と質問がメールが届く。
- ⑪パートナークラスの感想と質問を生徒に紹介する。
- ⑫感想のお礼と質問への回答をメールで返す。

3 研究の構想

(1) 研究仮説

既習の鑑賞方法や、同じテーマで表現した経験を生かして、海外の生徒作品を鑑賞することにより、生徒は異文化に対する新しい価値を作り出すことができるであろう。

(2) 仮説の具現化のための具体的方策

仮説の具現化のための構想を図1に示し、具体的方策を①～③に示す。

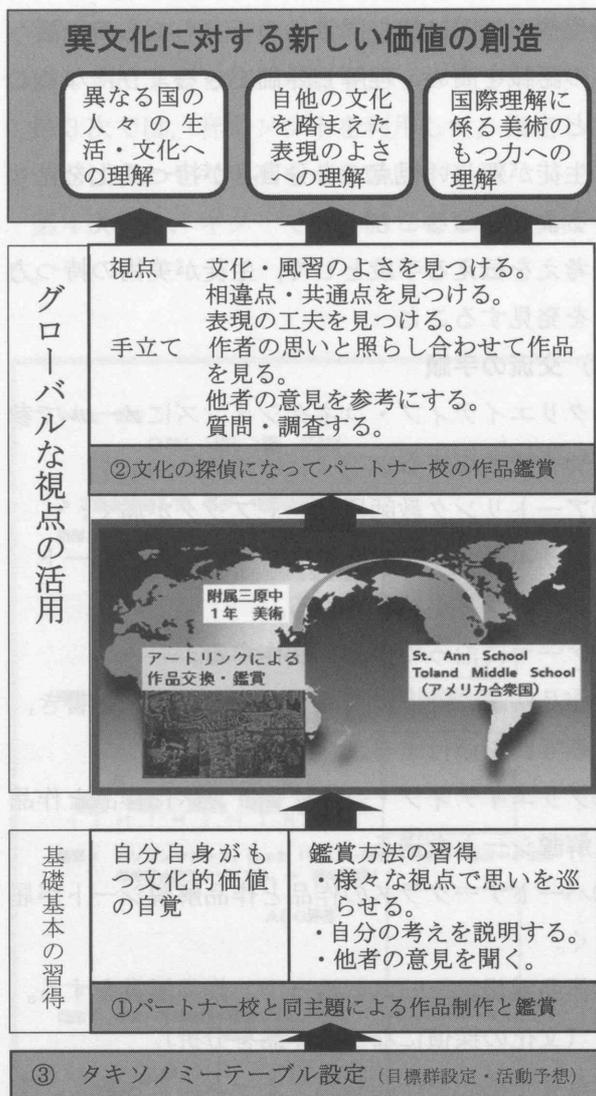


図1 仮説の具現化のための構想

① パートナー校と同主題による作品制作と鑑賞

アートリンクが指定したパートナー校との共通の主題により作品を作成する過程において、作文等により、日々の活動や行事等に対する生徒自身

が持つ文化的価値を自覚できるようにする。また完成作品を様々な視点で鑑賞し、相互に意見交流をする等の鑑賞方法の基礎を習得する。詳細については、「5 作品交流の実際」で述べる。

② 文化の探偵になって海外生徒の作品鑑賞

既習事項をもとに「文化・風習のよさを見つける。相違点・共通点を見つける。表現の工夫を見つける。」等の視点に沿って鑑賞する。また考えを広げるための手立てとして、「作者の思いと照らし合わせて作品を見る。他者の意見を参考にする。質問・調査する。」の活動を取り入れるようにする。

③ タキソノミーテーブルによる目標群と具体的活動例の設定

表1 図画工作・美術科のタキソノミーテーブル

	知識の次元	認知プロセス次元		
		1 思い出す / 理解する	2 応用する / 分析する	3 評価する / 創造する / 内面化する
認知領域	事実的知識 (美術用語、造形の要素と原理)	これまでの記憶から、美術用語や造形の要素と原理を想起して、新しい学習内容に関連づけている。	制作や批評・鑑賞の活動において、状況に適した美術用語を用いたり、造形の要素と原理を活用したりしている。	制作や批評・鑑賞の活動を通して、美術用語や造形の要素と原理に関する新しい認識を獲得している。
	概念的知識 (題材のテーマのコンセプト)	題材のテーマのコンセプトを認識・理解している。	制作や批評・鑑賞の活動において、題材のテーマのコンセプトを同定し関連性を判断している。	題材のテーマのコンセプトをベースにしなが、制作や批評・鑑賞の活動において、自分自身のコンセプトを深めている。
	精神的知識 (表現の技術と技法、批評・鑑賞の方法)	技法・技術を理解し習得する。	批評・鑑賞の方法を理解し習得する。	習得した技法・技術を自らの制作に応用している。
情意領域	感情の次元	1 受容する / 反応する	2 価値づける / 組織化する	習得した批評・鑑賞の方法を自らの批評・鑑賞に活用している。
	興味・関心・態度	美的な現象や存在を受け入れようとしたり、それらに対して注意を向けたりしている。	美的な現象や存在に見出される価値を認め、その価値を自分の持っている価値の意識や感情との関連で吟味している。	自らの批評・鑑賞に活用している制作や批評・鑑賞の活動を通して、よさや美しさに対する価値の意識や感情を再構成している。
	美的な価値観 (美しさやよさに関する価値の意識や感情)	美的な現象や存在との出会いから、自分の持っている価値の意識や感情を喚起している。		
メタ認知	メタ認知の次元	1 思い出す / 理解する	2 応用する / 分析する	自分らしさや改善点の認識に基づいて、自分なりの美意識を形成したり深めたりしている。
	自己知識	ポートフォリオ等からこれまでの学習を思い出している。	制作や批評・鑑賞において自分らしさが表れている点を分析している。	制作や批評・鑑賞の活動に取すべき点を見出している。
	自己調整			

所属校図画工作・美術科部会では、タキノミーテーブル(表1)の開発実践に取り組んでいる。

タキノミーテーブルとは、ブルームの提唱した評価の考え方「タキノミー」を継承・発展させた「新タキノミー」を美術教育の評価に応用したもので、「認知領域」「精神運動領域」「情意領域」「メタ認知領域」の4領域を縦軸とし、認知プロセス次元(思い出す・理解する、応用する・分析する、評価する・創造する)を横軸として目標群を設定している⁶⁾。

本実践研究では、特に「メタ認知領域」に焦点を当て、授業者が鑑賞の具体的活動例を予め予想して、個人やグループ鑑賞を行わせ、多様な視点で鑑賞ができているかを確認し自己調整する力の育成を図ることとした。

4 研究の方法

(1) 対象生徒

広島大学附属三原中学校 7 (中学1) 年生
1・2組 82名 (男子42名 女子40名)

(2) 調査時期

平成25年2月

(3) 題材

文化の探偵になって(鑑賞) (1時間扱い)

5 作品交流の実際

(1) アートリンクのテーマ

2012～2013年度のアートリンクのテーマは「私の文化に光をあてる：明かりをともしよう！」であった。

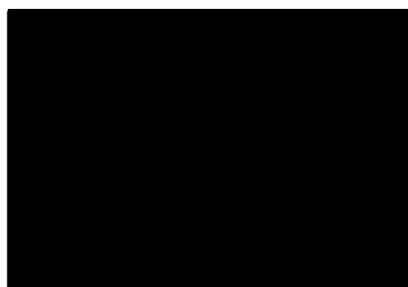


図2 アートリンクのテーマ紹介ポスター

自分にとって特別な意味を持つ文化の一面、文化の価値観を表現するものまたは自分が紹介したいと思う文化の特徴を描くよう設定されていた(図2)。

(2) 美術の授業での取り組み (I: 作品制作と相互鑑賞)

① 題材へのアートリンクの組み込み

年度初めから計画していた題材にアートリンクの趣旨を反映させて取り組むこととしたため、下記の題材において、生徒が部活動や行事に一生懸命取り組む姿を日本の中学生の文化の一面ととらえ、目標を持って一生懸命頑張っている表情や姿、応援している仲間などの中に込めた思いを「光」として説明するようにした(図3)。

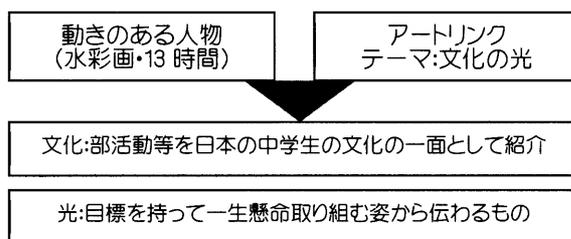


図3 題材へのアートリンクの組み込み

② 同主題による作品づくりと相互鑑賞の概要

次の題材については、本研究に係る仮説検証の方策①に示した既習事項として概要を述べる。詳細については、広島大学附属三原学校園研究紀要第3集⁷⁾に掲載したとおりである。

<題材名> 「動きのある人物」 (13時間扱い)

<題材の目標>

- ・自分の生活を表現することに関心を持ち、主体的に心豊かな表現の構想を練ったり材料や用具の特性を生かしたりしようとするようにする。
- ・自他の作品に関心を持ち、主体的に見方や理解を深めるようにする。
- ・感性や想像力を働かせて、感じ取ったこと、考えたことなどをもとに、主題を生み出し、一瞬の動きをとらえて、単純化や省略、強調を考え、創造的な構成を工夫し、心豊かな表現の構造を練るようにする。
- ・感性や造形感覚などを働かせて、材料・用具の

特性を生かし、自分の表現意図にあう方法を工夫したり、彩色の順序を考えたりするなど、見直しを持って創造的に表現するようにする。

- ・感性や想像力を働かせて、造形的なよさや美しさ、作者の心情や意図と創造的な表現の工夫などを感じ取り味わうようにする。

<内容>

自分が学校生活や習い事で一生懸命頑張っている様子、輝いている様子を描き、水彩絵の具で彩色する。

<生徒が設定した具体的なテーマ>

部活動（試合・練習）、習い事（バレエの発表会、剣道の試合、野球の試合）、運動会、文化祭、山の生活（2泊3日の合宿）等

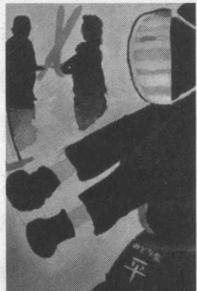
<指導の工夫>

- ・テーマをより意識できるように、400字程度の作文を書き、伝えたいことをまとめるようにした。
- ・毎時間の写真と、その時の工夫などをまとめた「振り返りポスター」を作成し、完成までのお互いの制作過程がわかるようにした。
- ・作品完成後、作品と「振り返りポスター」の両方をグループで鑑賞し、見る視点を広げながら意見交流するようにした。

③作品解説シートの作成

アートリンクのフォームに従い、以下の内容の作品解説シートを作成した。

- ①作品で表した場面の説明 登場人物紹介
- ②何の光が描かれているか
- ③作品に描いた価値はなにか。なぜ大切なのか。
 - ・家族紹介
 - ・余暇の過ごし方。好きなもの、嫌いなもの
 - ・将来何になりたいか。



- ①剣道 面打ちをしているところ
- ②もっと強くなりいたいと思う気持ちの光
- ③もっといい打ちができるようになって強くなりいたい。試合で負けたら悔しい。ステップアップへの土台づくり



- ①吹奏楽部練習風景
- ②目の前の窓からいつも飛び込んでくる朝日に照らされながら朝練を頑張っています。
- ③入部した時、他にも希望者がいた中で、私がクラリネットをふかせてもらっていることへの感謝

図4 生徒作品と作品解説（抜粋）

④送付・返信

作品解説シートに生徒の顔写真を添付し、作品とともにクリエイティブコネクションズ事務局に送付すると、間もなくパートナー校2校からの作品が、作品解説シートとともに送られてきた。

(3) 美術の授業での取り組み（Ⅱ：文化の探偵になって）

①本題材のタキソノミーテーブル

「認知領域」「精神運動領域」「情意領域」「メタ認知領域」について表2を設定した。

表2 「文化の探偵になって（鑑賞）」のタキソノミーテーブル

<認知領域>

知識の次元	認知プロセス次元		
	1 思い出す/理解する	2 応用する/分析する	3 評価する/創造する/内面化する
事実的知識 (美術用語、造形の要素と原理)	「動きを見つめて」で学習した人物画の表現技法や主題の工夫を想起し関連付けて鑑賞しようとしている。	「動き・ポジション・構図」等の用語を用いたり、材料名を確認したりして、活用しようとしている。	グループ鑑賞を通して、絵の要素や技法に係る用語を用いて、自分考えたことをまとめたり説明したりしようとしている。
概念的知識 (題材のテーマのコンセプト)	テーマ「文化に光を当てる」に沿い、絵の中に光を見つけようとしている。	テーマ「文化に光を当てる」に沿った見方や考え方ができている。	明したりしようとしている。

<精神運動領域>

知識の次元	認知プロセス次元		
	1 思い出す/理解する	2 応用する/分析する	3 評価する/創造する/内面化する
手続的知識 (表現の技術と技法, 批評・鑑賞の方法)	批評・鑑賞の方法を理解し習得する。 鑑賞の視点を思い出す。	文化の良さや表現技法の良さなど, 視点を持って鑑賞しようとする。	テーマ, 技法の工夫などについて, 意見を言い友達の意見を聞く。鑑賞を通してついた力を振り返りワークシートに書く。

<情意領域>

感情の次元	情意プロセス次元		
	1 受容する/反応する	2 価値づけする/組織化する	3 評価する/創造する/内面化する
興味・関心・態度	パートナー校の作品に興味を持ち, 丁寧に見ようとしている。	主題や色や形・構図などに基づいて, 作品を鑑賞し, 興味を持っている。	鑑賞の態度について, 自分についた力を振り返り, 情意面の向上について書いている。
美的な価値観(美しさやよさに関する価値の意識や感情)	テーマ・文化の良さや表現の美しさに気付いている。		

<メタ認知領域>

メタ認知の次元	認知プロセス次元		
	1 思い出す/理解する	2 応用する/分析する	3 評価する/創造する/内面化する
自己知識	鑑賞の視点をポートフォリオのもとに確認しようとする。	パートナー校の作品を鑑賞し工夫点を書いている。	表現されている内容を見て楽しんで, 自分の中に異文化に対する新たな価値を創造しようとする。
自己調整		友だちの意見を聞いて, 見方を広げようとしている。	美術の力について再認識している。

②作品鑑賞の方法

- 生徒一人がパートナー校の作品一枚を担当し, ワークシートの質問に記入する形で鑑賞したのち(図5), グループで作品を提示しあい, 感想を交流した(図6)。



図5 個人鑑賞の様子

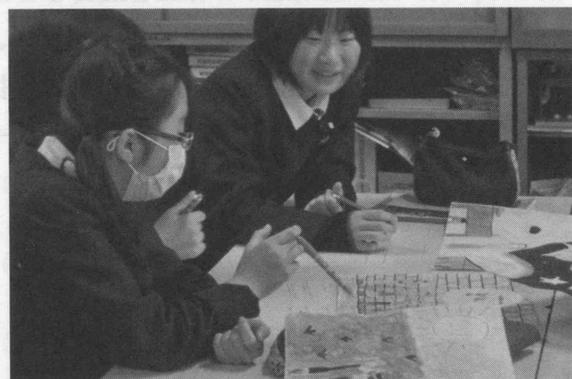


図6 グループでの鑑賞の様子

③鑑賞の視点

「文化の探偵になって作品を分析してみよう」を合言葉に, 既習事項を踏まえ, 次のようなワークシートの質問項目を参考にさせ, 鑑賞を進めた。

絵を見て考えましょう。

- 1 描かれている場面は? (登場人物・場所・想像できるストーリーから考えましょう。)
- 2 一番興味をもったところや面白いとおもったことは? (全体から細部を見て答えましょう。)
- 3 工夫されているところは? (色彩・画材・描き方などの技法を見て答えましょう。)
- 4 文化的な価値観について感じることは

(共通しているところ・独特だと思う文化・風習を見つけましょう。)

- 5 どんな光が描かれていますか？
- 6 絵を見て思い起こされる自分自身の生活は？

作品解説シートを見て考えましょう。

- 7 情報の中で、一番興味をもったことは？
- 8 作者に聞いてみたいことは？ (作品について・解説シートの内容)
- 9 鑑賞を通して、新しくわかったこと・新鮮だったことは？
- 10 鑑賞を通して、自分についてと思う力は？

④生徒の感想

表3は、St. Ann Schoolの作品を鑑賞して交流した内容をまとめたものである。図7～9のようなパートナー校の作品に対し、生徒は様々な視点で文化のよさや表現技法のよさを見つけてワークシートに記入していった。

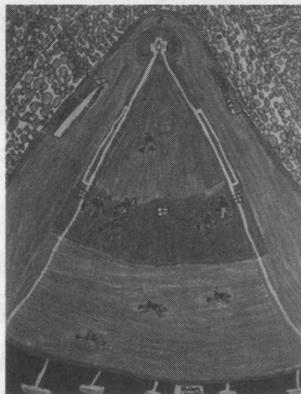


図7 野球場

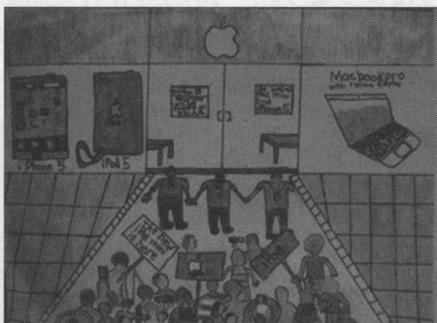


図8 家電新製品の発売日に並ぶ行列

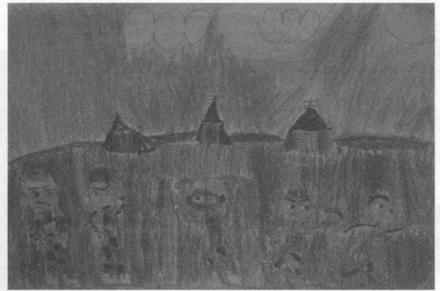


図9 兵士の基礎トレーニング

表3 St. Ann School への作品感想フォーム

パートナークラスに送る作品感想フォーム プログラム認識番号1213036

差出人の学校名: セントアン 学校 差出人の国名: アメリカ

受取人の学校名: 広島大学附属三原中学校 受取人国名: 日本

質問	答え
1 あなたの文化で特に興味深いと思ったところ	クリスマスの過ごし方が日本とは少し違っている。(7) 星や月の形に特徴がある。(2) 家の形が独特である。(9)
2 あなたの文化的な価値観で、私たちと共通していると思ったところ	犬の散歩(9) マックがある(2) 野球が好き(8) ストレッチやトレーニング(11) 家の中の家族の様子(6) 兄が意地悪することがある(2) 新製品に並ぶ(15) 遠近法を使って描く(2)
3 文化的な価値観の中で、あなたの文化特有のものだと思ったところ	星や月の描き方(2) 毎週教会へ行く。(3) 家族でキャンプへ毎年行き、マシュマロを焼いて食べる。(1) 広大な自然が身近にある。
4 私たちが一番興味深いと思った、あなたの文化的な細部	野球が自分にとって大切だということ(8) キャンプをして家族を知る機会を持っていること(1) 身近に兵士がいて、感謝や尊敬をしている。(11) 灯台の意義を強くかんじている。(3) エジソンの功績を称えている。(6)
5 それらの細部について、私たちが尋ねたいと思った質問	灯台の中に入ったことはありますか。(3) なぜ、エジソンを尊敬しているのか。エジソンから何を学んだのか。(6) なぜ、背景をオレンジ色にしたのか。(7) 兵士とふれあったり、話を聞く機会はあるのか。(11)
6 解説シートに書かれていた個人的な情報の中で、私たちが一番興味深いと思ったところ	人をからかうことがきらいだということに共感した。(3) 「はずかしい瞬間が嫌い」という考え方が新鮮だ。(7) みんな将来の夢がしっかりしていて、特に社会に貢献するような仕事を考えていること
7 それらの個人的な情報について、私たちが尋ねたいと思った質問	バイナッブルの嫌いな理由(10) テストがきらいなあなたは、どのように努力していますか。(5) 宿題は毎日どれくらいありますか。楽しい宿題はありますか。(2) メキシコ料理のタマレはどんな料理ですか。(13) 子どもが何歳くらいまで家族でキャンプに行くのか。(1)
8 絵の中に描かれた光が、特にすばらしいと思った作品の作者	人々から敬愛を受けている国旗の放つ光(10) 芝生の緑色が美しい光を放っている。(8) 人々の命を守る灯台の光(3) 兵士に対する感謝や尊敬の思い(11)
9 作品に使われていた美術的な技術の中で、私たちが特にすばらしいと思ったところ(色彩、画材、パターン等)	色鉛筆でいろいろな色が使われている。(9) 鉛筆のタッチをそろえている。(10) 輪郭線を強調し、いろんな線を組み合わせている。(3) 絵の具の粉末を散らしている。(7) 修正ペン？を使っている。(8) 2・3種類の材料を使い分けることで、はっきりとした絵になっている。(3)
10 あなたの作品を見たり、解説シートを読んだりした後で、その前とはあなたの文化に対する考えが変わったところ	絵をじっくり見ていると、その国の文化やその人が大切に考えていることが伝わってくる。縦長の紙に球場を描いた作品を見て、自分のイメージでいろんな表現が可能だと言うことがわかった。(8) 疑問に思ったことを放置せず、英文の解説を辞書で調べて訳したら、よりよく文化を理解できて楽しかった。本場のクリスマスの様子がわかった。アメリカには、日本よりも大自然に囲まれた場所があり、家族でそこに行ってゆったりとした時間を過ごしながら、お互いを理解しあっているということがわかった。

(4) パートナー校からの感想・質問および本校からの回答

感想フォームに取りまとめて、クリエイティブコネクションズ事務局を通してパートナークラスへ送付したところ、同様に表4のような感想・質問が送付されてきた。

「色の選択がすばらしい。すべての生徒に才能がある。作品を通し、多くの共通点を持っていると気づいた。」等の感想をいただき、生徒は満足していた。質問に対しては代表の生徒の意見をまとめて解答した(表5)。

表4 パートナー校からの感想・質問内容

The aspects of your culture we found particularly interesting = You like the same activities that we do, such as: soccer, baseball and music. Your interest in Mount Fuji and landscapes seem important to your culture. The way that your art is very similar to each other is very different from our style.

The cultural values we think we both share: = We both value sports, music and being outside. Your families seem very important to you and we feel the same way.

The cultural values we think are unique to you: = You play a game called Kapla and we do not. We may play something similar called Jenga. Mount Fuji seems to have some sort of significance for you and we do not have any physical feature that is very important to us.

The specific details in your class' artwork we found fascinating: = We enjoyed seeing Mario and Pikuman in one of the art pieces. Video games are a big part of kids lives here in the United States. It was nice to see that sports and outdoor activities are important to you.

Your personal information (written on the artist's description sheets) that we found particularly interesting: = We thought that "May 8th- Children's Day" is neat and American kids would love to have a special day to celebrate being a kid. We really enjoyed learning your names, they are very unique and interesting. Other personal details that we seemed to have in common were that we all want to have a professional job when were are older and have a family.

The art techniques you used that we think are special (color, media, patterns, etc.): = The color choices were beautiful and it seems that all of the kids in your class have a talent for drawing and painting. The way that one student drew hands playing the clarinet were wonderful and demonstrated a lot of skill. We reallt enjoyed the Anime style too!

The ways your art collection changed our preconceptions of your culture: = Before we looked at your art, we thought that Japanese kids would be very different from ourselves. Through your art, we realized that we have a lot more in common and are very similar. One difference and eye-opening detail for us was that way that you included light into your art pieces. You seemed to have a more philosophical interpretation and we were more literal. We included elements of light using stars, the sun, the moon and actual lightbulbs, whereas you included light coming from a surreal element.

Our questions and comments for you: = How long do you go to school for? What do you do for fun? What is your favorite video game? What is the most misunderstood part of your culture?

Thank you for exchanging art with us!

表5 本校からの回答

I am glad that you gave me the impression a lot.I will answer your questions.

How long do you go to school for? →Students take classes from 8:25 to 15:50.

What is your daily life like? →Each class is 50 minutes.Students will take 4 classes in the morning, 2 classes in the afternoon. After school students join the club activities until 17:20.

What do you do for fun? →Students like to talk with friends and do club activities and play video games.

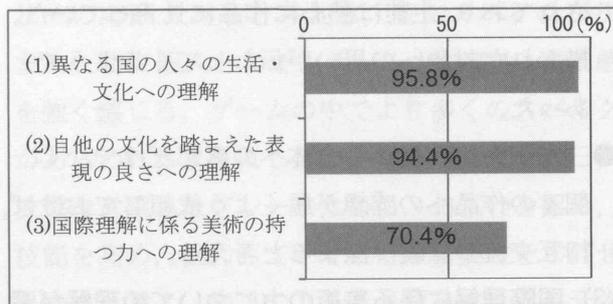
What is your favorite video game? →Pazzdra(puzzle and dragons), Monster Hunter, Doubutu-no-mori Pokemon ets.

What is the most misunderstood part of your culture? →Many people foreign countries think that there are ninja and samurai now. But It's not true.They don't exist now. Our hairstyle is normal just like yours.

6 結果と考察

表6は鑑賞の際に生徒が書いたワークシートの内容について(1)～(3)の理解度を教師が評価した結果である。それぞれについて成果と課題を整理する。(○成果・●課題)

表6 ワークシートによる理解の見とり結果



(1)異なる国の人々の生活・文化への理解が深まったか。

- 95.8%の生徒がこの内容を記載しており、既習の視点を参考に鑑賞を行ったことで、共通点や独自の文化を見つけることができたといえる。
- 生徒の感想からは、「身近に兵士がいて、感謝や尊敬をしていることが印象的だ。」「アメリカには、日本よりも大自然に囲まれた場所があり、そこで家族でゆったりとした時間を過ごしながら、お互いを理解しあっているということがわかった。」等、鑑賞の活動を通して、絵のよさだけでなく、その国の独自の風習や家族との関係づくりなどの文化が理解でき、楽しいと感じた生徒が多くいた。

- 「疑問を放置せず、調べたら、描かれた文化の光が理解でき、楽しかった。」等、絵を見て疑問に思ったことを放置せず、解説シートの英文を和訳することにより、相手の文化を理解することができたことに喜びを感じた生徒もいた。

(2) 自他の文化を踏まえ、表現の良さに気付くことができたか。

- 94.4%の生徒がこの内容についてワークシートへ記載しており、生徒は、作品解説シートの作成により、自作の価値を再認識しようとしたり、相互の作品の中に「光」のイメージを見つけようとしたりすることができたといえる。
- 「縦長の紙に球場を描いた作品を見て、自分のイメージでいろんな表現が可能とわかった。」「星や月の描き方に特徴がある。」「テーマのとらえ方に特徴がある。」「描画材料の使い方が私たちと異なる。」など新しい発見があった。
- 小作品が多かったが、色鉛筆等で丁寧に彩色されており、生徒は熱心に作品に見入っていた。描かれた対象への思いが伝わってくるようであった。
- パートナー校から全体への感想だけでなく、個々の作品への感想が届くよう依頼しておけば、相互交流の意義が深まると考える。

(3) 国際理解に係る美術の力についての理解が深まったか。

- 「じっくり見るとその国の文化やその人が大切に考えていることが伝わってきた。」「初めは絵の内容が分からなくても、解説文を読んで、改めて絵を見て想像することで、作者の生活が理解できた。」「知っていることだけでなく、新たに見つけようという気持ちで見ることができた」等の感想を持つ生徒がいた。
- ワークシートの記載を見ると、国際理解に係る美術の持つ力に言及した生徒は70.4%であり、他の2項目に比べ低い。交流鑑賞を通して生徒がとらえたことを今後の表現や鑑賞に生かしながら、引き続き国際理解へ関連付けた指導を工夫する。

7 おわりに

アートリンクについて、一連のシステムを理解するのに多少時間はかかったが、パートナー校との橋渡しが丁寧で、鑑賞プログラムなど、活用しやすい教材が準備されており、鑑賞の活動にグローバルな視点での活用を取り入れるには効果的であった。

今年も、アートリンクに参加し、「生きる糧」をテーマに食文化についての交流を行っているところである。今後も生徒が「文化の探偵になって」鑑賞する楽しさを味わい、我が国や諸外国の伝統や文化への理解を深めていけるよう、人やプログラムを介して、国際交流を続けていきたい。

<注および引用文献>

- 1) 文部科学省:「中学校学習指導要領」, p. 84, 2008年, 文部科学省.
- 2) 文部科学省:「中学校学習指導要領解説美術編」, p. 9, 2008年, 日本文教出版.
- 3) 前掲書2), p. 5.
- 4) Creative Connections:303 West Avenue, Norwalk, CT06850, USA
Hwww. Creativeconnections.org
- 5) Creative Connections:「日本・アメリカアートリンク教師用ハンドブック 第1版」, 2012年, Creative Connections
- 6) 吉川和生, 中島敦夫, 松本裕子, 内田雅三, 中村和世:「美意識を育む図画工作科・美術科の授業開発—メタ認知領域に焦点を当てて—」, 広島大学学部・附属学校共同研究機構研究紀要, no. 41, pp. 151-157, 2013.
- 7) 松本裕子:「題材の全過程を通して自己実現を図る美術科の授業実践—ドキュメンタリーポスターの制作と相互鑑賞を通して—」広島大学附属三原学校園研究紀要, no. 3, pp. 199-206, 2013.